

## 安全データシート (SDS)

## 1 化学品及び会社情報

## 化学品の名称

製品名 ヨウ化ナトリウム

製品コード

## 会社情報

供給者の会社名称 株式会社合同資源

担当部署 営業部

住所 〒299-4333 千葉県長生郡長生村七井土 1545-1

電話番号 0475-32-2302

Fax 番号 0475-32-1115

電子メールアドレス sales@godoshigen.co.jp

緊急連絡先 電話番号 (株) 合同資源 千葉工場

(夜間・祝祭日) 0475-32-2122

## 推奨用途

一般工業用途

## 使用上の制限

上記の用途以外の使用はしない。

## 2 危険有害性の要約

## GHS 分類

## 物理化学的危険性

分類できない

## 健康有害性

眼に対する重篤な損傷性／

区分 2B

眼刺激性

生殖毒性

区分 1B

生殖毒性・授乳に対する又は

授乳を介した影響

追加区分

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

区分 1 (甲状腺)

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

区分 1 (皮膚、甲状腺、全身毒性)

## 環境有害性

分類できない

## GHS ラベル要素

## 絵表示



注意喚起語

危険

**危険有害性情報**

眼刺激  
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ  
長期にわたる、又は反復ばく露による皮膚、甲状腺、全身毒性の障害

**注意書き**

[安全対策]

眼、皮膚との接触を避け、粉じん／ミストなどを吸入しないように必要に応じて適切な保護具を着用する。  
取扱い後はよく手を洗うこと。  
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

[応急処置]

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。  
眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。

[保管（貯蔵）]

施錠して保管すること。

[廃棄]

内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。

---

**3 組成及び成分情報**

---

**化学物質・混合物の区別**

化学物質

**組成及び成分情報**

化学名又は一般名： ヨウ化ナトリウム  
化学特性（化学式）： NaI  
含量： 99.5%以上  
CAS番号： 7681-82-5  
官報公示整理番号 化審法：1-442  
安衛法：公示された化学物質

---

**4 応急措置**

---

**ばく露経路による応急措置**

吸入した場合

直ちに新鮮な空気のある場所に移動させ安静にし、医師の処置を受ける。必要に応じ、人工呼吸や酸素吸入を行う。

皮膚に付着した場合

直ちに付着部を多量の水で十分に洗い流す。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。

飲み込んだ場合

直ちに水又は食塩水を飲ませて吐かせる。必要に応じて医師の処置を受ける。

**応急措置をする者の保護に必要な注意事項**

救助者は、状況に応じて適切な眼、皮膚の保護具を着用する。

---

## 5 火災時の措置

---

### 適切な消火剤

周辺火災に応じて水噴霧、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素を使用する。

### 使ってはならない消火剤

火災が周辺に広がる恐れがあるため、直接の棒状注水を避ける。

### 火災時の特有の危険有害性

不燃性であり、それ自身は燃えないが、当該製品は分子中にヨウ素 (I) を含有しているため、火災時に刺激性もしくは有毒なヒューム (又はガス) を放出する可能性がある。

### 特有の消火方法

消火活動は風上から行う。

火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

### 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火作業の際は、適切な保護具や耐火服を着用する。

---

## 6 漏出時の措置

---

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外の立ち入りを禁止する。

作業者は適切な保護具 (「8 ばく露防止及び保護措置」の項を参照) を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

密閉された場所に立入る前に換気する。

### 環境に対する注意事項

周辺環境に影響がある可能性があるため、製品の環境中への流出を避ける。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩物を掃き集めて空容器に回収する。

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

### 二次災害の防止策

すべての発火源を速やかに取り除く (近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。

プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。

---

## 7 取扱い及び保管上の注意

---

### 取扱い

技術的対策

「8 ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行い、必要に応じて保護具を着用する。

安全取扱注意事項

粉じん、ヒューム、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

接触回避

「10.安定性及び反応性」を参照。

衛生対策

取扱い後はよく手、眼を洗うこと。

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。

### 保管

技術的対策

保管場所には危険・有害物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な照明及び換気の設備を設ける。

混触禁止物質	「10.安定性及び反応性」を参照。
保管条件	施錠して保管すること 直射日光を避け、密閉して冷暗所に保管する。
安全な容器包装材料	ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレンなど。

## 8 ばく露防止及び保護措置

### 許容濃度（ばく露限界値、生物学的指標）

日本産業衛生学会（2021）	2 mg/m <sup>3</sup> （第3種粉塵（その他の無機および有機粉塵）、吸入性粉塵）
	8 mg/m <sup>3</sup> （第3種粉塵（その他の無機および有機粉塵）、総粉塵）
ACGIH TLV- TWA (2021)	0.01ppm（Iodine and Iodides as inhalable fraction and vapor）

### 設備対策

粉じんが発生する作業所においては、必ず密閉された装置、機器または局所換気装置を使用する。

### 保護具

呼吸用保護具	必要に応じて防塵マスクを着用する。
手の保護具	不浸透性保護手袋を着用する。
眼及び/又は顔面の保護具	保護眼鏡やゴーグルを着用する。
皮膚及び身体の保護具	必要に応じて保護衣、保護長靴、保護エプロン等を着用する。

### 特別な注意事項

情報なし

## 9 物理的及び化学的性質

物理状態	固体
色	白色
臭い	無臭
融点／凝固点	651℃
沸点又は初留点及び沸騰範囲	1,300℃
可燃性	不燃性
爆発限界及び爆発上限界／可燃限界	該当しない
引火点	不燃性
自然発火点	不燃性
分解温度	情報なし
pH	6～9（50 g/L、20℃）
動粘性率	該当しない
溶解度	水：64.1%（20℃）
n-オクタノール／水分配係数（log値）	情報なし
蒸気圧	情報なし
密度及び/又は相対密度	密度：3.67 g/cm <sup>3</sup>
相対ガス密度	該当しない

粒子特性

情報なし

**10 安定性及び反応性**

反応性	通常の取扱い条件下では安定である。
化学的安定性	通常取扱い条件下では安定である。
危険有害性反応可能性	通常取扱い条件下では危険有害反応を起こさない。
避けるべき条件	直射日光や熱を避ける。
混触危険物質	アルカリ金属、アンモニア、危険物第6類（酸化性液体）、強酸化剤、塩基、水、ジアゾ化合物
危険有害な分解生成物	ヨウ素

**11 有害性情報****製品の有害性情報**

急性毒性（経口）	マウス LDLo = 1,650mg/kg
急性毒性（経皮）	分類できない
急性毒性（吸入：ガス）	GHSの定義における固体である。
急性毒性（吸入：蒸気）	GHSの定義における固体である。
急性毒性（吸入：粉じん／ミスト）	分類できない
皮膚腐食性／刺激性	分類できない。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	眼に入ると、眼が刺激される。
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	IARCおよびNTPのリストに記載されていない。
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	分類できない
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	分類できない
誤えん有害性	分類できない

**12 環境影響情報****製品の環境影響情報**

生態毒性	
水生環境有害性 短期（急性）	分類できない
水生環境有害性 長期（慢性）	分類できない
残留性・分解性	分類できない
生体蓄積性	分類できない
土壌中の移動性	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない

**13 廃棄上の注意****残余廃棄物**

廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。  
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、または地方公共団体が廃棄物処理を行

っている場合はそこに委託して処理する。

#### 汚染容器及び包装

容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

---

## 14 輸送上の注意

---

### 国際規制

国連番号	該当しない
品名（国連輸送名）	該当しない
国連分類（輸送における危険有害性クラス）	該当しない
副次危険性	該当しない
容器等級	該当しない
海洋汚染物質（該当・非該当）	非該当
IBCコード（該当・非該当）	非該当

### 国内規制

陸上規制情報	該当しない
海上規制情報	該当しない
海洋汚染物質	該当しない
航空規制情報	該当しない

### 輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策：

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。重量物を上積みしない。

---

## 15 適用法令

---

### 該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報

化学物質排出把握管理促進法	該当しない
労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険物及び有害物（沃化物）
毒物及び劇物取締法	該当しない

---

## 16 その他の情報

---

### 参考文献

NITE GHS 分類結果一覧（2021）  
日本産業衛生学会（2021）許容濃度等の勧告  
化学便覧 基礎編 改訂5版 丸善（2004）  
ACGIH, American Conference of Governmental Industrial Hygienists (2021) TLVs and BEIs.

【注意】本 SDS は、JIS Z 7253:2019 に準拠し、作成時における入手可能な製品情報、有害性情報に基づいて作成していますが、必ずしも十分ではない可能性がありますので、取扱いにはご注意ください。本 SDS の記載内容については、新しい知見等がある場合には必要に応じて変更してください。また、注意事項等は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には用途・条件に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。